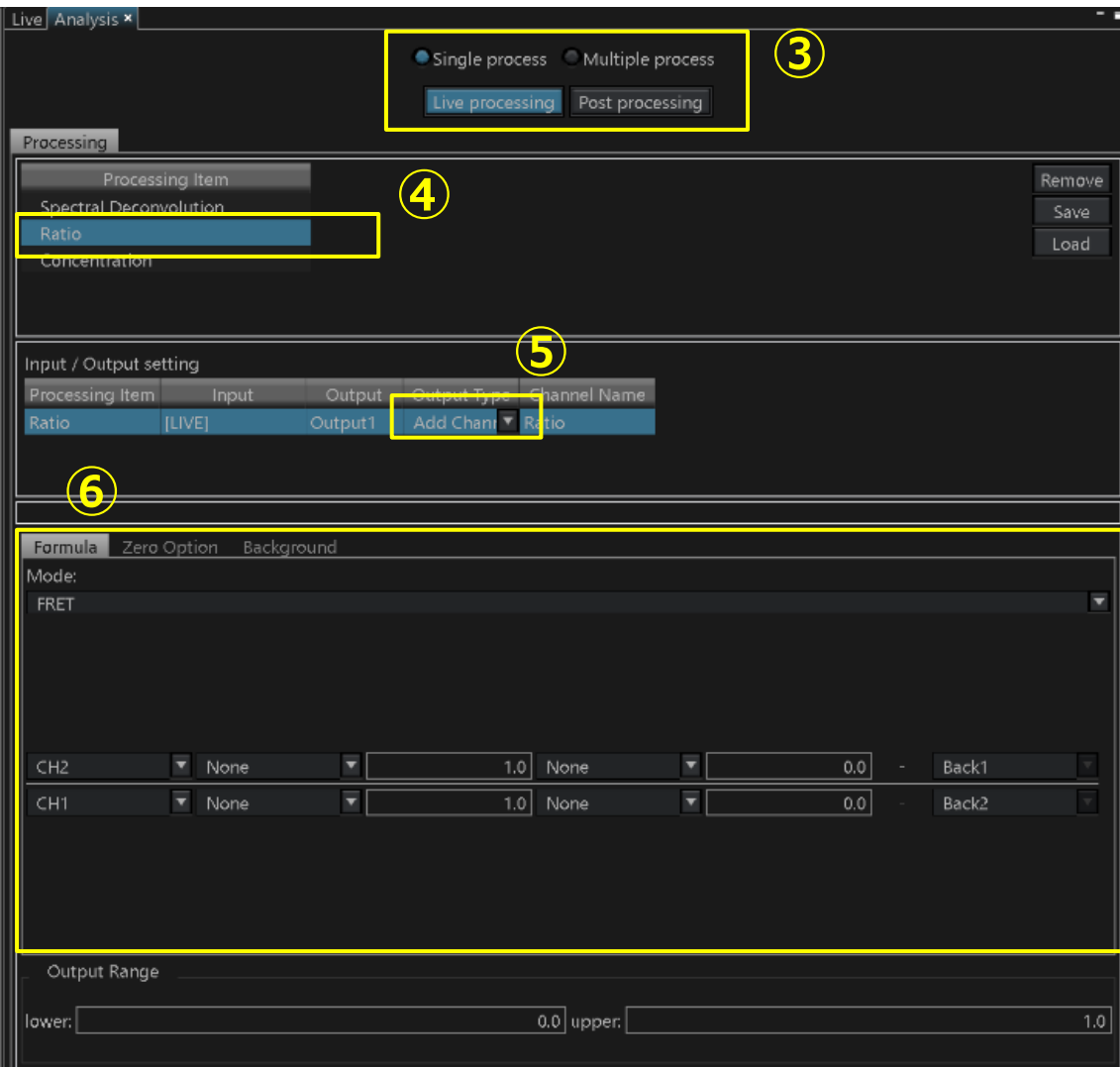
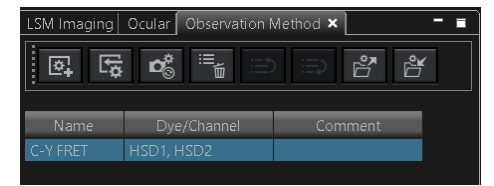


CFP/YFP Ratioイメージング

リアルタイムで表示させる場合

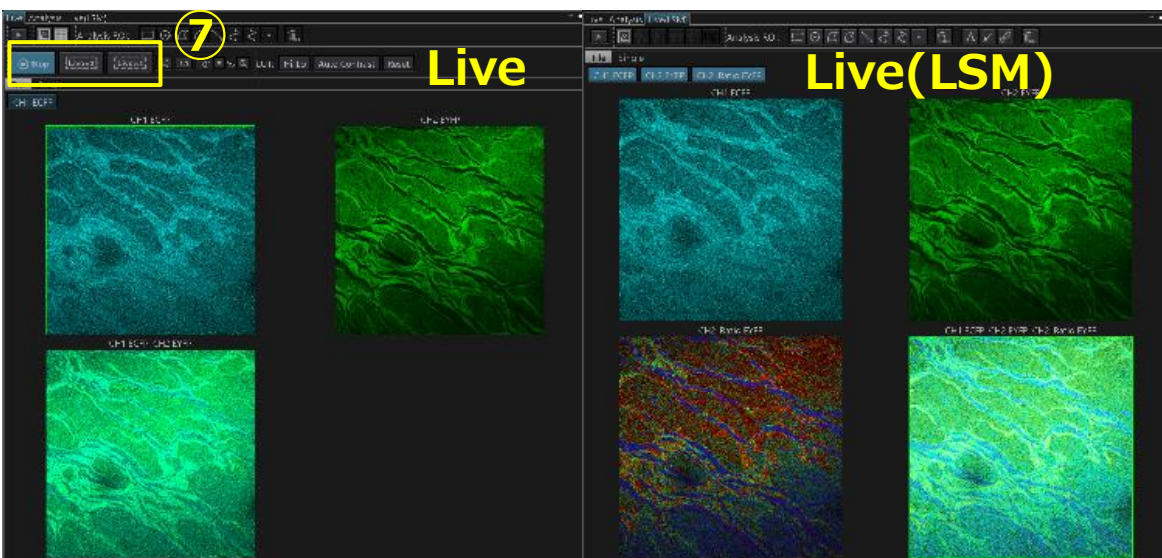


イメージングの準備

- ① [Observation Method]から「C-Y FRET」を選択、ロードします。P25参照。
- ② メニューバーで[Tool Window]>[Analysis]及び[Live Graph]を選択、表示させます。
- ③ [Analysis]ツールウィンドウ内にて“Single process”、“Live processing”を選択します。
- ④ Processing Itemにて“Ratio”を選択します。
- ⑤ Input / Output settingにて“Add Channel”を選択します。
- ⑥ Formulaにて“FRET”を選択し、分子分母のチャンネル、必要に応じて係数を設定します。

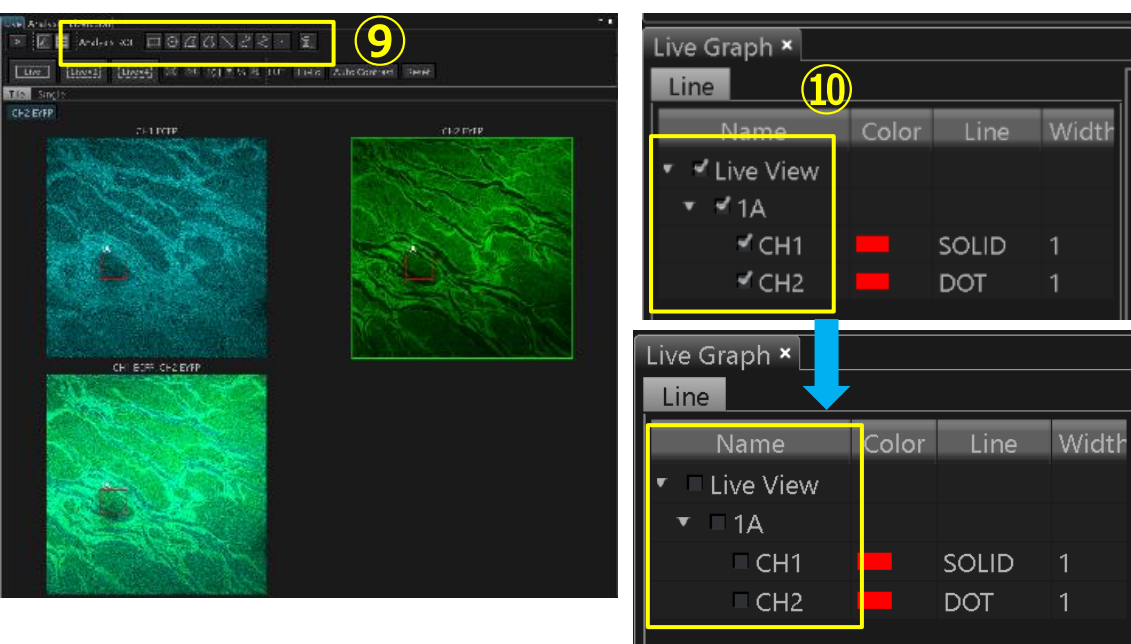
※今回の例ではCH1 : CFP、CH2 : YFPです。

Live表示、輝度グラフを描くROIを書く



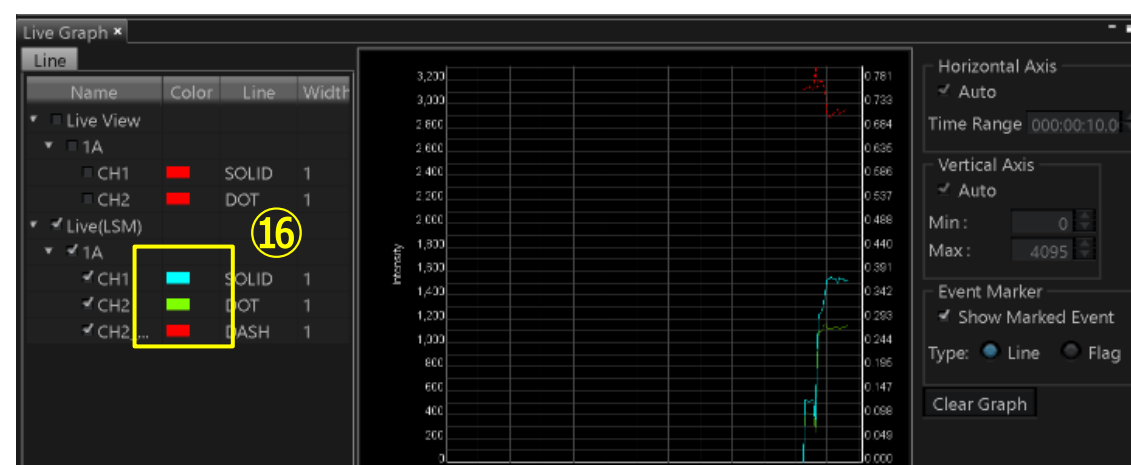
- ⑦ Live (x2, x4) を開始すると、“Live”, “Live(LSM)”の2つのタブが表示されます。

※“Live(LSM)”はRatio計算された結果です。Liveの開始、停止は“Live”ウィンドウからのみ行えます。



- ⑧ レーザ出力、HV等、画像の調整を行い、Liveを停止します。
- ⑨ “Live”タブ内 AnalysisROIを用い、グラフを書く為のROIを設定します。
- ⑩ 自動的に“Live Graph”にLive View、1A、2A..が作成されますが、チェックを外します。

Tシリーズで画像の取り込み

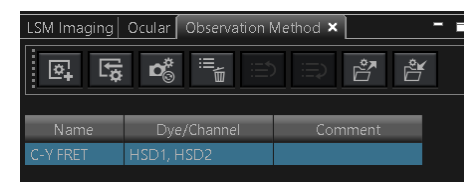


- ⑪ [Series]ツールウィンドウの[Time]をONにします。
- ⑫ [▼Time Lapse]内で、IntervalとCycle回数を入力します。
- ⑬ [Acquire]ツールウィンドウで[Nornal]タブを選択します。
- ⑭ 保存先、フォルダ名を入力します。
- ⑮ ボタンを押します。
- ⑯ 取得中でも、[Live Graph]内のColorボックスをダブルクリックしグラフの色変更が可能です。
- ⑰ Ratio計算あり、なし のデータがそれぞれ作成されます。

Name
 FRET.oir
 FRET_0001.oir

CFP/YFP Ratioイメージング

データ取得後に処理する場合



画像取得

- ① [Observation Method]から「C-Y FRET」を選択、ロードします。P25参照。
- ② レーザ出力、HV等を調整し、タイムラプスデータを取得します。

取得済みデータの処理

- ③ ソフトウェア右上“Viewer”にて表示モードを変更します。
- ④ [Analysis]ウィンドウにて“Single process”、“Post processing”を選択します。
- ⑤ Processing Itemにて“Ratio”を選択します。
- ⑥ Input / Output settingにて処理するファイルおよび、“Add Channel”を選択します。
- ⑦ Formulaにて“FRET”を選択し、分子分母のチャンネル、必要に応じて係数を設定します。
- ⑧ 設定完了後、Processにて実行します。

